

学びの連続性を大切にした

# 「新3学期制」

新3学期制では、1学期を「形成期」、2学期を「発展・向上期」、3学期を「充実期」とし、それぞれの学期で「学習面」「生活面」で意識すべきことを具体的に示し、それをもとに学校教育を行います。

また、長期休業期間は「課題克服・伸長期」とし、1年間を通し学びの連続性を大切にした学校教育を行い、子どもたちの学びの質を高めます。

## ポイント

### 通知表を年3回発行

長期休業前に、通知表で学習や生活の成果・課題を、児童生徒や保護者に伝えます。このことにより、長期休業期間中も目標を持ち、学習に取り組んだり生活を送ったりすることができます。

### 長期休業期間も学びを継続

長期休業期間は、各学期の学習面や生活面での課題を克服したり、興味関心や得意なことを伸ばしたりする期間と位置づけ、学びを継続できるようにします。

### 学びと成長のつながりを意識した学校教育

「学びの過程」を示し、1年間を通じ学びの連続性を大切にした学校教育を行います。

また、小学校から中学校の9年間での成長のつながりを大切にします。



## 子どもたちの学びの過程



形成期

発展・向上期

充実期

1学期

2学期

3学期

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

夏休み

冬休み

春休み

### 1学期

～学びの基礎の形成～

#### ■学習

学年に応じた学習方法（発表の仕方、ノートの書き方等）の習得や学習習慣・態度の定着を目指します。

#### ■生活

教師と児童生徒、児童生徒同士の人間関係づくりに努めます。

得意を伸ばす  
課題の克服

通知表

### 2学期

～学びの発展・向上～

#### ■学習

1学期に身につけた学びの基礎をもとに、主体的に学ぶ学習を展開します。

#### ■生活

よりよい人間関係を築き、安心して生活できるよう努めます。

得意を伸ばす  
課題の克服

通知表

### 3学期

～学びの充実・成長の実感～

#### ■学習・生活

一年間の自分自身の成長を振り返り、次年度に向けての意欲や目標が持てるよう、学習・生活の充実を図ります。

次の学年への意欲を持つ  
課題の克服

通知表